

## グレンデール碑文のウソと慰安婦問題

「史実を世界に発信する会」事務局長 茂木弘道

グレンデールの石碑の文章（日本語訳）は下記の通りです。



「私は日本軍の性奴隷でした」

\* 掻き乱された髪は、日本帝国軍によって家から強引に連れ去られている少女を象徴しています。

\* 握りこぶしは、正義の回復のための堅い決意を表しています。

\* 裸足でかかとの着いていない足は、冷たく無理解な世界によってずっと見捨てられていることを表しています。

\* 少女の肩に止まった鳥は、私たちと亡くなった犠牲者との絆を象徴しています。

\* 空いている椅子は、正義をいまだ証言していない高齢で死を迎えている生存者を象徴しています。

\* 少女の影はその少女と年老いたお婆さんで、無言のまま費やされた時間の経過を象徴しています。

\* 影の中の蝶は、犠牲者がある日彼らの謝罪を受け取って甦るかもしれないという希望を表現しています。

### 平和記念碑

1932年から1945年の間に日本帝国軍によって強制的に性奴隷状態にされた200,000人以上の韓国・中国・台湾・日本・フィリピン・タイ・ベトナム・マレーシア・東チモール・インドネシアの故郷から移送されたアジアとオランダの女性を記念して。

そして、日本政府がこれらの犯罪の歴史的責任を受け入れることを勧告する、2007年7月30日の合衆国議会による下院決議121号の通過と、2012年7月30日のグレンデール市による「慰安婦の日」の宣言を祝して。

この不当な人権侵害が決して繰り返されないことが、私たちの偽らざる願いです。

2013年7月30日

ここに書かれていることは100%ウソと切り切れる大ウソです。

第1に、日本帝国陸軍に家から強引に連れされた女性は、1人もいません。ゼ

口です。なぜなら、日本軍にそんなことをする権限もなく、そんな女衞の行う仕事をするほど暇で、規律のない軍隊ではありませんでした。そんなことをしたら、戦前といえども大社会問題となってしまいます。勿論それを目撃した韓国人は一人もいません。20万人が連行された、とここに書かれていますが、たった一人の韓国人もそれを目撃したという証言をした人がいない、という事実を何故不思議とも思わずこんなウソを恥ずかしげもなく書くのでしょうか。慰安婦問題では、怪しげな証言なるものが多いのですが、それでも少女が連行されていくのを目撃したと証言した韓国人はいないのです。

元慰安婦の人が証言しているのではないか、という方がいるかもしれません。しかし、実はこれまで証言した慰安婦の方で、ただの1人も軍に強制されたことをまともに証明している人はいないのです。戦地へ行き、慰安所でつらい目に会ったことは言っていますが、軍に誘われたこともなければ、頼まれたこともありませんし、いわんや強制されたなどということを行っている人はいないのです。それをにおわせるような言い方をしている人もありますが、実際にそんなことはありえないので不自然なことばかりです。戦地での話も実は、どれだけ根拠のある話なのかもあやふやなものです。いずれにしても、軍に命令もされず、依頼もされずに当時広く行われていた売春という仕事に出かけて行ったというのが真相です。

強制連行したという唯一の論拠となっていたのは、吉田清治が1983年に書いた『私の戦争犯罪』で、これをもとに朝日新聞などが大々的に報じました。しかしそれは全くのウソの本でした。ウソであることは、吉田が慰安婦狩りをしたという済州島の新聞記者が郷土史家と徹底調査した結果として、1989年8月14日には新聞に掲載されていました。次ページの済州新聞の記事のコピーとその日本語訳をご覧ください。

慰安婦狩りを行ったという現場の現地の新聞が郷土史家と共同で調査して、そのようなことは全くなかった、ということを報じているにもかかわらず、朝日新聞は、それから25年もそれを無視して吉田のウソを否定せず、さも事実であるかの前提で慰安婦報道をしてきたのでした。韓国政府も自国の地元新聞が明確に吉田のウソを否定しているのに、それを完全に無視して朝日新聞という日本の「権威」の言うことをうのみにし、それに基づき日本非難をしてきました。朝日新聞の言っていることが虚偽と分った今、韓国政府は大反省し、済州新聞に対して、また日本に対して謝罪するべきではないでしょうか。

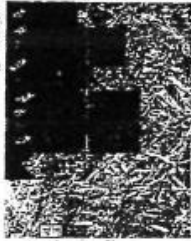
# 日帝 濟州서 위안부 205명 징발했었다



日本서주기 「나는 조선사람을 이렇게…」 파문

해방된후 20년을 맞아 일제시  
대 제주도에서의 위안부 205  
명 징발을 알리게 됐다는 기록  
이 나와 큰 충격을 던져주고  
있으나 위안부 증언이 많아  
과문을 던져주고 있다.

42년 10월 10일 일제시  
대 10년 동안 야마구치현노무부국  
과(山田縣務部)의 동  
원부장으로서 조선사람들을  
징발하는 일에 종사했던 오사  
키세이 지키의 진정서 기록  
「나는 조선사람을 이렇게 잡  
아왔다」가 그것으로 밝혀진  
구소 현대사 연구실의 1983  
년판을 통해 발간한 것.



의를 맞이하면서, 조선말이라  
고 인식했다. 나는 곧바로 조  
한말에 개국군주라 믿고 있다.  
이 공장에선 스무살쯤 되는 여  
자들을 징발한다. 곧바로 공  
장안으로 들어보고 여자들을 견  
용할 것이다. 너희들도 협력  
해라!」(「제주도에서의 위안  
부사냥」 일부)

괴롭스릴고 배려적인 표현  
까지 그대로 사용한 것이다.  
그런데 조선사람들은 징  
발장에 관한 증서기이나 관계  
증서는 왜인지 모르. 내부자  
들의 기록만 믿고 두... 한

신빙성에 대한 의문을 던  
진 것이다.

해산의 주민 정옥안씨(85)는  
72년 일군였다. 20여50여가  
호밖에 강원 마을에서 열다섯  
살이나 징발됐다면 열다  
섯 살이던... 당시 그런 일  
은 없었다고 부인했다.

향토사환자 정봉우씨는 71  
년 일군의 관호성과 중앙신  
진 일면을 그대로 드러내  
고 있다. 차가 부끄러워서  
입에 담지 못할 말을 그대로  
썼다. 83년 일군이 나  
고래 열회 동안 주위한 것과 사  
남주권인 부분도 있었다. 오

## 주민들 '날조' 日 '돌염치·상술에 분개'

자자는 당시 야마구치현 노무보국회 동원부장  
「城山浦 단추공장」 동포·법률리동서 강제징용, 주장

여기에는 「광주에서의 남자  
강제연행」과 「제주도에서의  
위안부 사냥」에 대해서 자신  
이 피할 가할 수밖에 없었던  
당시를 기술하고 있다.

이 기록에 의하면 △광주  
에서 조선인 여자정신대 2대  
장인 19세이남 30세이남신  
의 전장한자 △기간 1년 △  
어 30년 △준비금으로 전  
금 20년 △근무지 4곳만 △  
동원지역 조선 전라남도

너를 모두 잡아 싣고 차의  
속행로 통해 그곳을 떠났다.  
높은 바위산 사이로 돌린  
줄을 따라가자 비탈도가  
넓은 바다는 동안대  
정 있었었고, 우정선은 가

자사의 진술을 믿지 않  
서 장들에게 벌을 주  
기 격려했었다.  
그러나 이 기록에 의  
한 城山浦 단추공장  
을 강제 징발했던 기록

해커 그들의 작곡집  
년, 1945년 1월 15  
안파안상술인연도  
을 「제주도」고  
【許福根기자】

吉田著の韓国語訳への許記者による書評 (濟州新聞1989年 8月14日)

解放四四周年を迎え、日帝時代に濟州島の女性を慰  
安婦として二〇五名を徴用していたとの記録が刊行さ  
れ、大きな衝撃を与えている。しかし裏付けの証言が  
なく、波紋を投じている。(ついで吉田著の概要を紹介)  
しかしこの本に記述されている城山浦の貝ボタン工  
場で一五〇一六人を強制徴発したり、法環里などあち  
こちの村で行われた慰安婦狩りの話を、裏づけ証言す  
る人はほとんどいない。

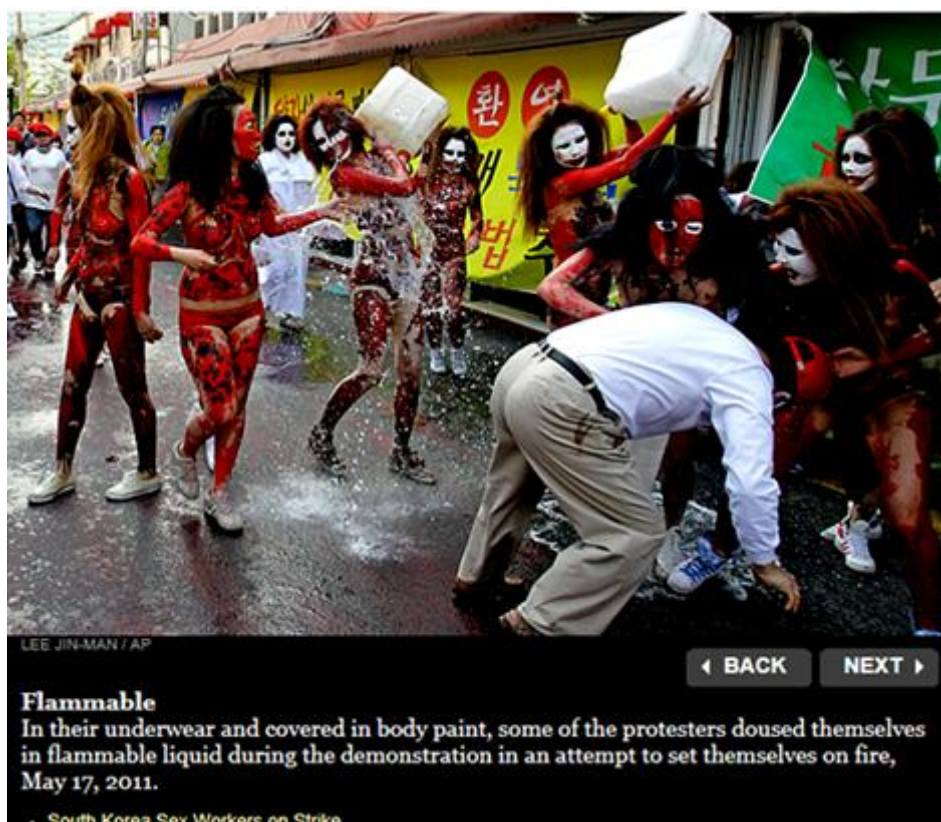
島民たちは「でたらめだ」と一蹴し、この著述の信  
憑性に対して強く疑問を投げかけている。城山浦の住  
民のチョン・オクタン(八五歳の女性)は「二五〇余  
の家しかないこの村で、一五人も徴用したとすれば大  
事件であるが、当時はそんな事実はない」と語っ  
た。

郷土史家の金奉玉は「一九八三年に日本語版が出て  
から、何年かの間追跡調査した結果、事実でないこと  
を発見した。この本は日本人の悪徳ぶりを示す軽薄な  
商魂の産物と思われる」と憤慨している。

第2に、「慰安婦問題の正しい理解のために」(日本語版は、「史実を世界に発信  
する会」の日本語サイト <http://hassin.org/01/wp-content/uploads/Guide.pdf>、英文版  
は"Guide to Comfort Women" [http://www.sdh-fact.com/CL02\\_1/113\\_S4.pdf](http://www.sdh-fact.com/CL02_1/113_S4.pdf) )に書  
かれているとおり、戦前日本では(ほとんどの国でも)売春は合法的であり、  
日本中いたるところに妓楼などの売春施設がありました。それと同じものを戦  
地にも開設しただけであり、なにも軍が特別な不法なことをしたわけでは全く

ありません。当時、日本国内ではこういう施設を利用することができたのに、海外の戦地に行くと、こういう施設がないのは、兵士に対する差別待遇ということになります。従って、慰安所を開設したことは公平の原則に基づいていたのであり、これを非難するのは見当はずれです。

第3に、そもそも売春は、醜業と当時よばれたように望ましい仕事とは思われていませんでしたが、一般の仕事よりもかなり高収入の仕事でした。(今でも同じです) 従って、貧しくこれという技能のない女性にとって、一つの良い収入を得る道でした。今でも同じです。それを女性の人権問題として糾弾するのは、一つの考えとしてはあり得るでしょうが、決して普遍的な正義ということではできません。2011年5月17日には韓国のソウルで売春婦の大きなデモがありました。「われわれの売春の権利を奪うのか」という抗議のデモです。(下記のTIME PHOTOの写真をご覧ください。) 売春は女性の人権問題と信じ込んでいる人たちは、この売春婦の声にどう答えるのでしょうか？既に売春が法的に禁止されている現在においても売春婦がこういう主張しているのです。売春が合法であった70年も前の時代の「慰安所」を女性の人権問題として日本軍を糾弾するという「異常性」は一体なんなのでしょうか？



慰安婦を非難する日本のいわゆる人権派の人たちは、明らかに深刻な人権侵害事件であり、今なおその被害者が存在している拉致問題にたいして、一向に抗議もしなければ、救出のための活動も行ってきませんでした。「異常性」の正体は此処にあり、ということになります。彼らは、本当に「人権」を守ろうとしているのではなく、要するに日本悪者論に基づく、日本非難を「人権」の名のもとで行っているにすぎない、と結論付けざるを得ません。オバマ、ヒラリー等アメリカの人権論者もこの「異常性」に早く気付くべきです。

第4に、戦地という危険性がある場所での仕事なので、一般的な売春施設よりかなり高収入が期待できました。「慰安婦問題の正しい理解のために」で紹介しました通り、新聞広告では、月300円というのがほぼ相場でした。しかし、実際の収入はそれより高かったようで、米軍尋問調書 US Office of War Information No. 49 によると彼女たちの月平均の収入は、750円と書かれています。

それどころか、文玉珠という元慰安婦は、ビルマで慰安婦として働いていたときに郵便貯金をしていましたが、その支払いがなされていないと提訴しました。別に日本軍が支払わなかったのではなく、通帳を無くしてしまったから支払われなかったのです。調べたところ下関郵便局に原簿が残っていて、彼女の貯金残高は2万6千百15円と分りました。2年半の間にこれだけの貯金できた、ということは彼女は月に少なくとも1000円稼いでいたということです。上等兵の月給が、月10円でしたから、その3倍ではなく、30倍、75倍、100倍という超高

Classified by *[Signature]*

UNITED STATES OFFICE OF WAR INFORMATION  
Psychological Warfare Team  
Attached to U.S. Army Forces India-Burma Theater,  
APO 689

Japanese Prisoner of War Interrogation Report No. 49.	Place interrogated: Date interrogated: Date of Report: By:	Lode Stockade Aug. 20 - Sept. 10, 1944 October 1, 1944 T/S Alex Yoriichi
---	---	---

---

Prisoners: Date of Capture: Date of Arrival at Stockade:	20 Korean Comfort Girls August 10, 1944 August 16, 1944
--	---

~~SECRET~~

**PREFACE:**

This report is based on the information obtained from the interrogation of twenty Korean "comfort girls" and two Japanese civilians captured around the tenth of August, 1944 in the mopping up operations after the fall of Myitkyina in Burma.

The report shows how the Japanese recruited these Korean "comfort girls", the conditions under which they lived and worked, their relations with and reaction to the Japanese soldier, and their understanding of the military situation.

A "comfort girl" is nothing more than a prostitute or "professional camp follower" attached to the Japanese Army for the benefit of the soldiers. The word "comfort girl" is peculiar to the Japanese. Other reports show the "comfort girls" have been found wherever it was necessary for the Japanese Army to fight. This report however deals only with the Korean "comfort girls" recruited by the Japanese and attached to their Army in Burma. The Japanese are reported to have shipped some 703 of these girls to Burma in 1942.

**RECRUITING:**

Early in May of 1942 Japanese agents arrived in Korea for the purpose of enlisting Korean girls for "comfort service" in newly conquered Japanese territories in Southeast Asia. The nature of this "service" was not specified but it was assumed to be work connected with visiting the wounded in hospitals, rolling bandages, and generally making the soldiers happy. The inducement used by these agents was plenty of money, an opportunity to pay off the family debts, easy work, and the prospect of a new life in a new land - Singapore. On the basis of these false representations many girls enlisted for overseas duty and were rewarded with an advance of a few hundred yen.

The majority of the girls were ignorant and uneducated, although a few had been connected with "oldest profession on earth" before. The contract they signed bound them to Army regulations and to work for the "house master" for a period of from six months to a year depending on the family debt for which they were advanced.

~~SECRET~~

DECLASSIFIED BY *[Signature]*  
US DECLASSIFICATION BRANCH  
DATE *1973* ND-97  
①

収入でした。従って、こういう高収入を目的に働きに行く女性はいくらもいたのであって、なにも強制的に連れて行く必要など「皆無」でした。

第5に、こうした当時の常識を正確に反映して、米軍尋問調書 US Office of War Information No. 40（ビルマミートキナで捕虜とした20人の韓国人慰安婦の聞き取り調査）では、**A comfort girl is nothing more than prostitute or professional camp follower.** と明確に記録されています。前掲のコピーの赤字部分をご覧ください。なにも慰安婦＝戦場の売春婦は当時珍しいものでも何でもなかったのです。

なお「慰安婦問題の正しい理解のために」にも書きましたが、売春は人類最古の職業でしたが、何も何十年も昔のことではなく、ご存知のように、今も広汎に行われています。上記3、で述べましたように2011年5月に行われた韓国の売春婦が「われわれの売春の権利を奪うのか」と抗議デモをしました。韓国の女性は現在アメリカで売春をしている海外女性のうちで最も数が多いと伝えられています。日本にもたくさん来て売春をやっています。こういう人たちも、家庭の事情その他の理由があるからやっているのですが、こうして日本に来て売春をやったあげく、何かつらい目に会ったということで、謝罪や賠償をすることができるというのでしょうか？現在、元慰安婦や韓国政府が謝罪や賠償を日本政府に要求していますが、日本政府は強制はなかったというもののお詫びをしています。つらい目に会おうがどうしようが、それは個人もしくは親の責任であり、日本政府、又は軍の責任ではないのに何で「謝罪」しなければならないのでしょうか。謝罪などすれば、世界中のだれもが、日本軍はきっと悪いこと、不当なことをやったんだろうと思うでしょう。日本は良心的だなどと考えてくれる国がいるなどと考えるとしたら、見当はずれも甚だしいでしょう。謝罪をしているということが、問題の本質を見失わせ、日本を貶め苦境に追い込む根本原因となっています。

全くの虚構の上に成り立っていた、「慰安婦問題」は朝日新聞が誤報を認めたことで、根本的に崩壊したのです。本質的には吉田清治のウソだけが、慰安婦強制連行の根拠でした。これがウソと地元の済州島新聞が1989年に調査の結果明らかにした時から、この吉田のウソを認めず、慰安婦強制連行説を主張し続けた朝日新聞は、誤報ではなく、捏造・歪曲報道をしてきたということです。

日本の言論界、知識人の世界で圧倒的な権威をもっていた朝日新聞のこの捏造報道に実は日本政府、政治家も大きな影響を受けていたがゆえに、見当外れの

「謝罪」を行うことになり、河野談話というウソだらけの声明を出すことになったばかりではありません。韓国政府も、日本非難のベースは朝日新聞報道でした。自国の現地の新聞である済州新聞が100%ウソと明らかにしているのを全く無視してウソ報道に載ってしまうという恥ずべきことを行ったのが、韓国政府でした。

この100%のウソ情報をもとに慰安婦像をソウルの日本大使館前に立て、そして全くのウソの碑文とともに、グレンデール市に慰安婦像を建てた、というのが事の真相です。こんなウソをアメリカで言ってしまった韓国人は、文字通り謝罪して、この碑の撤去を行うべきです。またまともな調査を行わず、地方議員を含む多くの良心的な日本人の意見も聞きいれず、この像建設を容認したグレンデール市は、この過ちを謝罪し、直ちに碑の撤去を行うべきです。

以上